

お お な み  
お お な み  
82号

ウェーブ通信 (no.82)

2017年 10月号

NPO 法人  
コミュニティ・  
ネットワーク・ウェーブ



画 = K・Oさん「まつたけ」

# 小泉公園ふれあいフェスタ、 初めて駒沢中学校で開催！

昨年に続いて今年もお天気に恵まれず、前日の午後から雨。予報では、ふれあいフェスタの10月7日（土）朝10時頃には雨が上がり、その後は曇りからだんだん天気がよくなるだろうというものでした。

判断に迷う状況でしたが、昨年の反省もあり、「今年は思い切って中学校で開催しよう」ということになりました。連絡網で各団体に伝えたのが、前日の19時頃。その時刻にはかなり本格的に降っていたので、皆さんも納得してくださったようです。

当日、朝6時頃に目を覚ますと、小雨～霧雨といった感じで、一瞬「公園でできるかなー」と邪念が浮かんだのですが、「イヤイヤ、みんなで中学校と決めたんだし、今朝までの雨で公園の地面もグジュグジュだろうから、スッパリ諦めよう！」と思い直し、中学校に集合。同じように思った人もいたようですが、初めての中学校での開催で、あらかじめ決めたレイアウトどおりに場所がうまく使えるかなど、走り回って確認しながら準備に集中するしかありません。

無事に開会にこぎつけ、全体の流れもまあまあスムーズにいき、予定どおり15時に閉会。ヨカッタ！ヨカッタ！！（その頃は青空になっていました）。中学校の教室、格技室、渡り廊下、ピロティと会場が分散し、人出もちょっと少なめかなーという気はしましたが、このお天気で会場が変更になってどれくらいの人に来てくれるか・・・と、心配したわりには大勢の方が来てくださり、本当にありがたいことでした。



初めて、駒沢中学校で開催しましたが、大勢の方に来ていただきました。



世田谷消防署の協力で、「まちかど防災訓練車」がやってきて、消火訓練を体験しました。

今年はステージ関係を駒沢こだま保育園の職員が担当していただき、機材も全部用意していただき、駒澤大学の学生さんが司会進行をテキパキやってくださって、本当に助かりました。

そして、駒沢中学校には会場の提供に加え、中間テスト前にもかかわらず、ボランティアの生徒さんをたくさん出してくださり、感謝・感謝です。

また、ご来場くださった多くの地域の方々に支えられて、今年も無事フェスタを終えることができました。ありがとうございました。

# 全国シェルターシンポジウム報告



1998年の第1回目札幌大会以来、20年の歴史を積み重ねて、大きな節目の年となる2017年は、東京での開催となりました。

今大会から次の時代へ向けて大きく羽ばたくために、運営スタイルを全国女性シェルターネット主導から、市民に開かれたシンポジウムへと大きく変え、どなたでもウェブサイトから情報を得ることができ、参加申し込みできるようにしました。

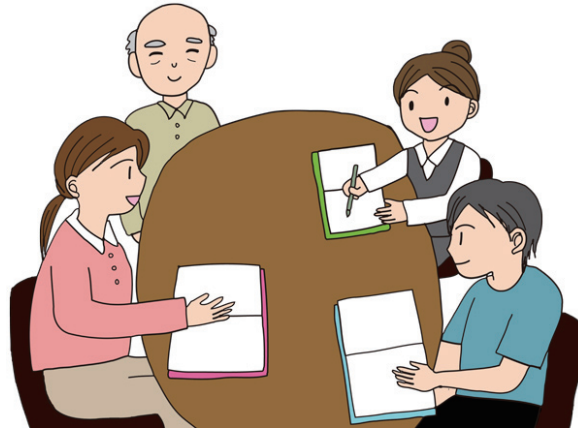
安全面での心配がありましたが、100名をこえる学生を中心としたボランティア、弁護士や警察の協力も得て無事終了いたしました。全国から、また海外からの参加者は2日間でのべ2300人でした。

ウェーブは、東京ブロックの一員として、広報を担当。素敵なデザイナーさんたちとのご縁で、写真上左のようなイラストやロゴやウェブデザイン作成に力を貸してくださいました。

基調講演は「乗り越える力：当事者からみた暴力の影響とトラウマ」。お話しくださったのはオルガ・トゥルヒーヨさん（米国弁護士、コンサルタント）。暴力によって破壊された家庭で育ち、壮絶な児童虐待&性暴力からのサバイバーです。周囲の人の関わり方が、どのように当事者の経験に影響を及ぼすのかについても伝えてくれました。

ウェーブの居場所を利用しているサバイバーさんたちは、自分たちの思いを伝え、この大きなうねりに関わりたいと、この日のために作ったオリジナルハンドメイド品にメッセージをつけて出店（写真上右2点）。達成感と自信に満ちた笑顔がまぶしく、幸せな一日でした。

# ケアマネジャーって何する人？



「ケアマネジャーは何をしてくれる人なんですか？」ときかれて、「連絡調整をする役目です」と答えたケアマネジャーがいたという話を聞き、「私たちだったら、何て説明するかしらね」と、職場でひとしきり話題になりました。

「“ 困りごとの相談にのって、解決できるように一緒に考えたり情報提供したりする人 ” と答えるかしらね」というのが一致した見解でしたが、これは私たちが試験に合格して、ケアマネジャーになるための研修で最初に学ぶことです。




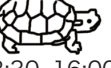







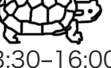


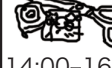


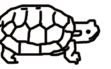







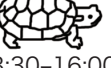




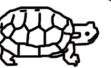



でも実際、介護保険をほとんど知らない方に、ケアマネジャーの役割が理解できるように説明するというのは、簡単なことではありません。「ケアマネジャーさんはお掃除をしてくれるんでしょ」とか、「具合が悪い時に電話をしたらすぐ来てくれるの」などなど、いろいろな役割を混同されている方も珍しくありません。何度か訪問をする必要がある方もあれば、ひと月に1回の訪問だけのお付き合いもあります。

きっと皆さんそれぞれに「ケアマネジャー」のイメージをお持ちだと思いますが、「ケアマネジャーがいてくれてよかった」と安心していただければ良いのかなと思って、日々自分たちの役割を自問自答しています。(N・H)

# ウェーブカレンダー

ウェーブ分室  
で開催

駒沢中学校「支えあ  
いルーム」で開催

	日	月	火	水	木	金	土
第1週		 10:15-11:45 歌声サロン		 10:00-12:00 健康体操		 10:00-12:00 俳句を楽しむ	
		 13:30-16:00 みどりがめ	 14:00-16:00 健康麻雀	 14:00-16:00 編み物・書道	 14:00-16:00 手芸		
第2週		 10:15-11:45 どんぐり		 10:00-12:00 健康体操		 10:30-12:00 書道	 12:00-15:00 たんち山
		 13:30-16:00 みどりがめ	 14:00-16:00 健康麻雀	 14:00-16:00 編み物・書道	 14:00-16:00 手芸		
第3週				 10:00-12:00 健康体操		 10:00-12:00 初心者麻雀	
		 13:30-16:00 みどりがめ	 14:00-16:00 健康麻雀	 14:00-16:00 編み物・書道	 14:00-16:00 手芸		
第4週		 10:15-11:45 どんぐり		 10:00-12:00 健康体操		 10:30-12:00 書道	 12:00-15:00 たんち山
		 13:30-16:00 みどりがめ	 14:00-16:00 健康麻雀	 14:00-16:00 編み物・書道	 14:00-16:00 手芸		
第5週				 10:00-12:00 健康体操			
		 13:30-16:00 みどりがめ	 14:00-16:00 健康麻雀	 14:00-16:00 編み物・書道	 14:00-16:00 手芸		

## 花絵の会

毎月第2・4月曜日の13:30  
～15:30に駒沢中学校の「支  
えあいルーム」で開催します。

- 11月 13日・27日
- 12月 11日
- 1月 08日・22日



## 夕食会

毎週火・木曜日の  
17:00～18:00に開催。  
18:00以降に食べたい方は、  
17:00までにお電話を！

# 身

## 体とのつきあい方

～身体の声聞きながら、いのちを全うする～

文＝小野 殖子

かつて、仕事で名古屋に行った折のこと。友人が迎えに来てくれるまで、私はホームのベンチで待っていた。少し離れた所で、ホームレスらしき中年の男性がゴミ箱の中の駅弁らしきものを拾って、中身をきれいに揃えているような姿が見えた。揃え終わったら、友人らしき同様の男性にそれを手渡した。そしてまた、別のゴミ箱で駅弁を拾い、同じように中身を揃えている。初めに手渡された男性は、自分だけ先に食べることなく、もう一人が戻ってから2人で並んで食べ始めた。

その光景を遠くで見ながら、私の胸にはいろいろな思いが湧いていた。駅弁（食べ物）を捨てる人がいれば、仲よく食事をする人がいる。「食べ物との付き合い方」というか、私たちは「他の動植物の命をいただいで生きている」わけで、食べ物を粗末にしない二人の姿に感動した。

さらに、自分ひとりだけ先に食べることをせず、仲間と一緒に仲よく並んで食べる姿、相手を思いやる姿に感動した。この人たちは今はホームレスでも、幼い時には「人を思いやる心」を育てられたのだろう。「三つ子の魂百までも」・・・そんな気がした。人生何が起こるかわからない。昨日までふつうの生活をしていた人が、突然ホームレスになることもある。しかし、幼い時の育てられ方（命への対応の仕方）は生涯を貫く。私には、そんなことを感じさせられた光景だった。

何十年もたった今、その光景が思い出され、再びいろいろな思いが湧いてきた。昨今の報道で、自殺者の数の多さに驚く。お金があっても気持ちの通じ合わない人の間では孤独である。お金がなくても友人や仲間がいて、お互いに思いやる気持ちがあれば心をホットにしてくれる。加齢とともに人間関係が大事になってくる。「他人が幸せでなきゃ自分も幸せじゃない」。今の高齢社会で、みんなが思いやり支え合って生きることの大切さ。私のいのちは天からお預かりし、生かされている――そのことを忘れずに天寿を全うするのが私たちの役目。どうぞ皆様、くれぐれもお身体をご自愛くださり、天寿を全うされますように。

# Jアラートって 空襲警報のこと？



9月14日（金）。今日も朝から大騒ぎだった！ 北朝鮮がミサイルを発射したと、TVのニュースが繰り返し報道しつづけた。北朝鮮のミサイルが日本上空を通過して、北海道の襟裳岬東方の2,200キロメートル先の海上に着水したとのこと。アナウンサーは、北海道、東北、北関東など12道県の県名を挙げ、「頑丈な建物や地下に避難して下さい！」「物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守って下さい」と、まるで戦時中の「空襲警報」のように叫びつづける。この緊急速報はスマホにも「緊急速報」として入る。

空襲警報とは、戦争において敵軍航空機による空襲を市民に知らせ、被害が出ないようにする目的で発令される警報である。第二次世界大戦期の日本では、1937年（昭和12年）に本土防空における民間防衛に関する「防空法」が制定され、「警戒警報」と「空襲警報」の2段階で発せられる仕組みとなっていた。戦後は、空襲時の恐怖を思い出すと、人々から嫌がられてきたが、今年72年ぶりの空襲警報の復活となったものである。

世田谷区の小学校では、今年4月に「弾道ミサイル発射時の学校対応について」というタイトルがついたお知らせが配られたという。世田谷区教育委員会と学校長の連名で、全国瞬時警報システム（Jアラート）や防災無線放送があった際の対応が書かれていたという。4月21日に国から都を通じて、通知が届いたと



いう。世田谷区長はそのようなことは知らず、先走った教育委員会は謝罪したというが???

文部科学省は、安全管理や危機管理マニュアルの見直しのほか、自治体と連携した避難訓練の推進を求める文書を全国に送り、すでに全国各地の学校で同様の文書が配られたり、避難訓練が実施されたりしている。

怖いのは北朝鮮のミサイルなのか？ もっと怖いのは、「戦時放送」を流しつつける、安倍政権ではないのか。ミサイルが落ちるのが本当に心配なら、一番危ない原発をどうするか、防空壕は？ と考えるはずである。北朝鮮のミサイルや核の脅威を煽りつつ、戦時体制を作り上げていく。子どもにも、おとなにも「敵は○○○」と刷り込み、訓練に素直に参加しない「協力しない▽△さんは非国民だ！」と決めつける。そのうちに、今年5月3日に宣言した緊急事態条項を盛り込んだ「日本国憲法改正案」通すつもりか。

11月3日は日本国憲法公布の日である。「あたらしい憲法のはなし」は、太平洋戦争終結後に短期間使用された、中学校1年生用社会科の教科書である。

「六 戦争の放棄 みなさんの中には、こんどの戦争に、おとうさんやにいさんを送りだされた人も多いでしょう。ごぶじにおかえりになったのでしょうか。それともとうとうおかえりにならなかったのでしょうか。また、くうしゅうで、家やうちの人を、なくされた人も多いでしょう。いまやっと戦争はおわりました。二度とこんなおそろしい、かなしい思いをしたくないと思いませんか。」（「あたらしい憲法のはなし」より）

（大木清子）

忘れさせただ一匹の虫の音や

柿田 英夫

曼珠沙華 墓参の道を彩れり

上杉 重子

過疎の村守る一面の彼岸花

山本 欣子

中天をよぎるものなし今日の月

中島 喜久子

ふるような虫の合奏 指揮はだれ

横溝 幸子

自転車で月と一緒に帰る道

中田 フミ子

世の平和祈る今夜の月円か

土井 キミ



(K・Oさん「彼岸花」)

今回は初めて、ウェブ分室での「俳句の会」の皆様の作品を  
ご紹介させていただきます。

スタートからちょうど1年。初めのうちは参加者が集まらず、  
休会にしたこともありましたが、最近では6～10名の参加があり  
楽しくやっています。初めての方も大歓迎！

どうぞ、頭の体操・ボケ防止にふるってご参加ください。

戸袋に椋鳥むくどりの巣作り軽々し  
銀杏ぎんなんを拾いて捨てる寛永寺  
今日の日は悔ひなかりしと月の冴え

高橋 ツヨ

秋晴れや集ひに入りてワンタッチ  
天高し大道芸に大拍手  
展示終へ枯葉ちり初む美術館

横溝 幸子

## ウェーブの会員になりませんか (会員登録のお願い)

- 正会員：年会費3,000円  
ウェーブのサービスを利用したい方や、  
ウェーブの活動をスタッフと一緒に支えてくださる方
- 賛助会員：年会費5,000円  
時間や労働力の提供はできないけれど、資金面で支えてくださる方
- 寄付：金額自由 (随時受付)  
会員にはならないけれど、応援したいと思ったださる方

### 振込先はこちらです

郵便振込：00170-9-401564

[名義] コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ

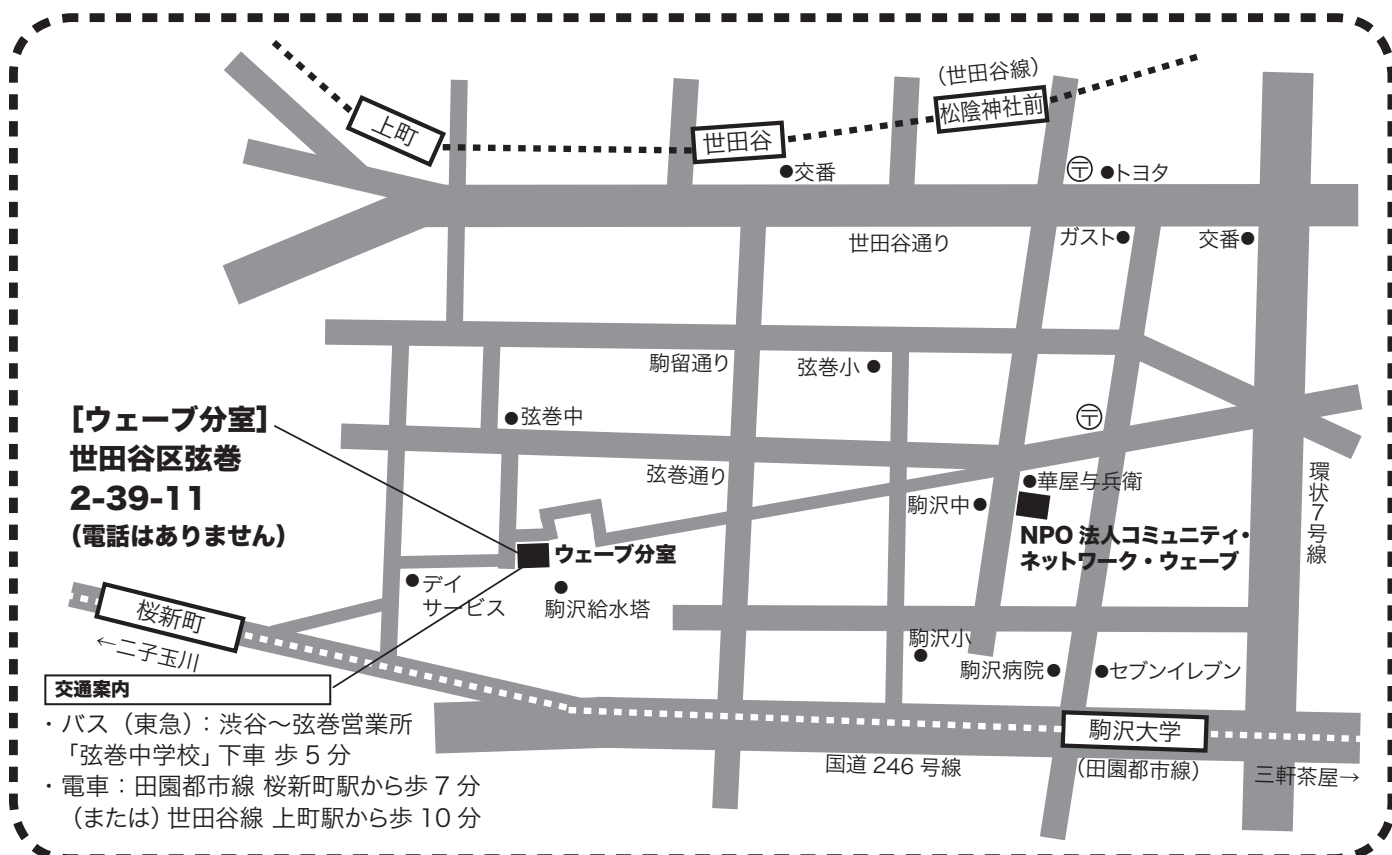
銀行振込：みずほ銀行 駒沢支店 (普)2025583

[名義] 特定非営利活動法人コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ

ウェーブ通信「おおなみこなみ」は、コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ (CNW) の活動を多くの方に知っていただくために、年4回発行しています。ボランティアさんや地域の方、ウェーブを利用されている方などから記事をいただき、絵の好きな方から表紙やイラストを提供いただいています。ウェーブは「地域」を見つめながら活動しています。地域のいろいろな声の発表の場として、みなさんに利用していただきたいと思います。

## NPO法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェーブのご紹介

◎ NPO法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ（CNW）は、障害のある人もない人も、高齢者も子どもも若者も、すべての人が家庭や地域の中で普通に日常生活を送り、支えあって暮らす社会（ノーマライゼーション）の実現をめざして、1994年に設立されました。高齢者・障害者の支援をはじめ、差別や偏見による人権の問題、家庭内での暴力の問題、環境保護に関わるリサイクルなど、さまざまな問題に取り組み、その解決に向けて努力を重ねています。不安の多い世の中において、心のよりどころを求めている多くの人たちのオアシスになれることを願って活動しています。



### だれでもサロン道草

tel:03-5430-7780  
(火・水・木 13:00～18:00)  
fax:03-5430-7780  
(いつでも可)

### 介護事務所

tel:03-5430-7781  
(9:00～19:00)  
fax:03-5430-7771  
(いつでも可)

### 交通案内

- バス（東急）：渋谷～弦巻営業所「駒沢中学校」下車すぐ
- 電車：田園都市線 駒沢大学駅から歩7分（または）世田谷線 松陰神社前駅から歩9分

### ウェーブ通信「おおなみこなみ」第82号

発行日：2017年10月15日

発行所：NPO法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ

154-0012 世田谷区駒沢2-43-9 駒沢サンハイム106

メール wave@ngo-npo.org ホームページ <http://www.ngo-npo.org/wave/>

編集協力 & デザイン：宮本幹江（時遊編集舎）